



株式会社ラック

2024年3月期 通期決算説明資料

2024年5月13日

目次

1. 2024年3月期 通期決算概要
2. 2025年3月期 連結業績予想
3. 株主還元
4. 補足資料
5. 会社紹介

2024年3月期 通期決算概要

セキュリティ事業、SI事業ともに伸長し前期から増収・増益

セキュリティ事業は増収となった一方で、緊急対応の体制強化や運用監視のサービス力強化による先行投資等の影響により減益

(体制強化の遅延や追加施策による影響もあったものの、翌期以降にこれら施策の収益貢献を見込む)

SI事業は開発サービスを中心に好調に推移し増収・増益

売上高・利益とも期初予想を達成

織り込んでいなかったオフィス更改関連費用の計上はあったものの、好調なSI事業の進捗や経費減などの効果で売上高・利益とも期初予想を上回る

期末配当は計画通り1株当たり14円とし、年間配当は26円の予定

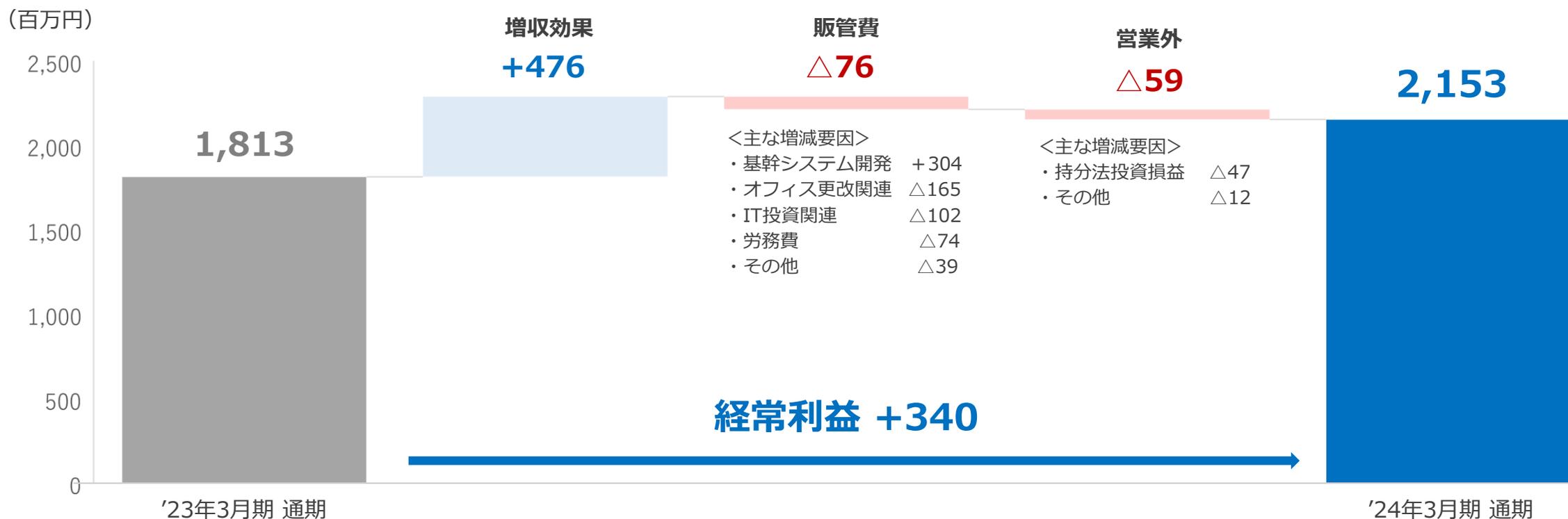
売上高はセキュリティ事業、SI事業の伸長により増収 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は大幅増益

(百万円)

科目	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	44,018	49,477	+5,458	+12.4
営業利益	1,775	2,174	+399	+22.5
営業利益率%	4.0	4.4	+0.4p	-
経常利益	1,813	2,153	+340	+18.8
経常利益率%	4.1	4.4	+0.2p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△147	1,379	+1,527	-
自己資本当期純利益率（ROE）%	△1.0	9.1	+10.1p	-

(注) 2023年3月期に社内基幹システム開発の中止に伴う特別損失として1,854百万円を計上しています。

オフィス更改関連費用や IT投資、持分法投資損失の増加などがあったものの 増収効果や社内基幹システム開発費用減の影響などにより経常増益



(注) 1. オフィス更改関連の費用は、平河町オフィス（2025年3月に賃貸借契約終了予定）の契約更改に伴う原状回復費の資産・負債計上および既存資産の見積り変更による減価償却費増加分等によるものです。
 2. 持分法適用関連会社としてKDDIデジタルセキュリティ(株)、ニューリジェンセキュリティ(株)の2社があります。

セキュリティ事業は増収・減益、SI事業は増収・増益 全社共通費用は社内基幹システム費用減の影響などにより減少

(百万円)

売上高	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	19,521	22,159	+2,637	+13.5
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	24,497	27,317	+2,820	+11.5
合計	44,018	49,477	+5,458	+12.4
セグメント利益	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	2,366	2,260	△105	△4.5
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	3,429	3,854	+425	+12.4
合計	5,795	6,115	+319	+5.5
全社共通	△4,020	△3,940	+79	-

(注) セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の事業にかかる販売費及び一般管理費を含めた利益です。

製品販売や診断サービスなどが拡大し増収 事業体制・サービス力強化のための先行投資の影響などにより減益

セキュリティコンサルティングサービス

緊急対応サービス案件の減少はあったものの、体制・対策強化に向けたコンサルティング案件の拡大や標的型メール訓練など教育サービスが伸長したことで増収

セキュリティ診断サービス

年間で手掛ける大型案件の売上計上があったことや潜在的な脅威を調査するペネトレーションテストの案件が拡大したことで増収

セキュリティ運用監視サービス

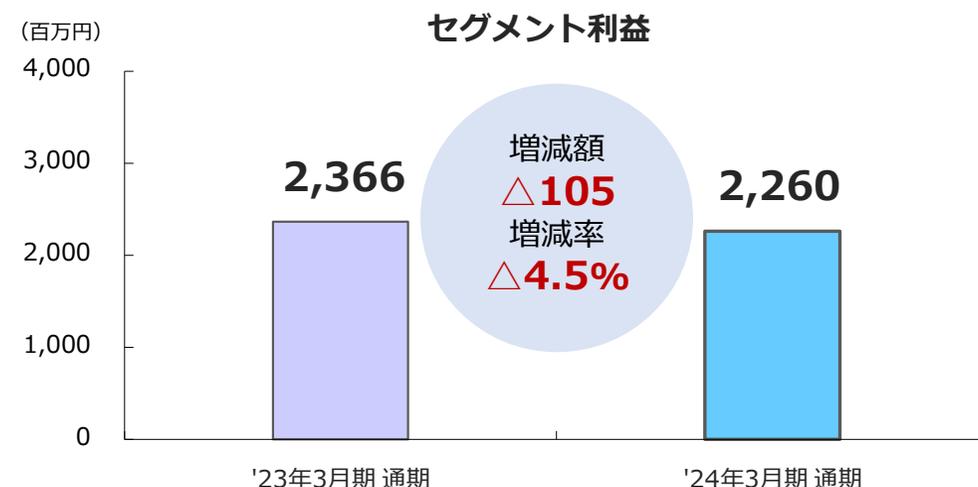
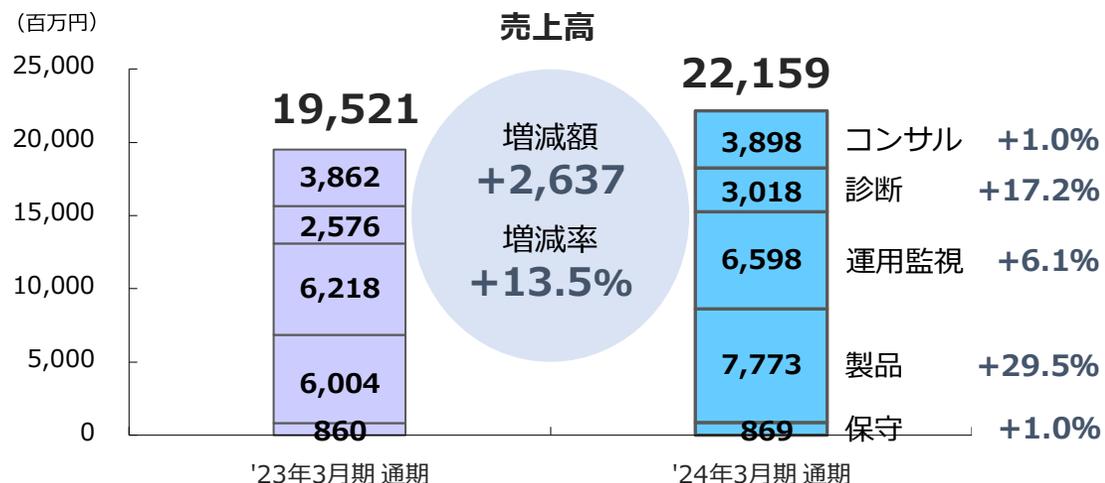
特定企業向けに高度な対策を行う個別監視サービスや内部不正監視サービスが伸長するとともに、エンドポイント対策支援サービスが拡大したことにより増収

セキュリティ製品販売

エンドポイント対策向けおよびサービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策向けクラウド対応製品や、潜在的な脅威情報の分析製品などが大幅に拡大し増収

セキュリティ保守サービス

クラウド対応製品の拡大等で需要が縮小している影響はあるものの、既存案件等が増加したことにより増収



(注) 当連結会計年度より、以下のとおりサブセグメント間で事業の組み替えを行っています。それに伴い、前期を変更後の数値に組み替えて表示しています。

- ・ エンドポイント対策支援サービス : コンサルティングサービス → 運用監視サービス
- ・ 標的型メール訓練サービス : 診断サービス → コンサルティングサービス

開発サービスやHW/SW販売などが伸長し増収・増益

開発サービス

大手銀行やクレジットカードなどの金融業向け案件に加え、公共向け案件が大幅に伸長したことにより増収

HW/SW（ハードウェア・ソフトウェア）販売

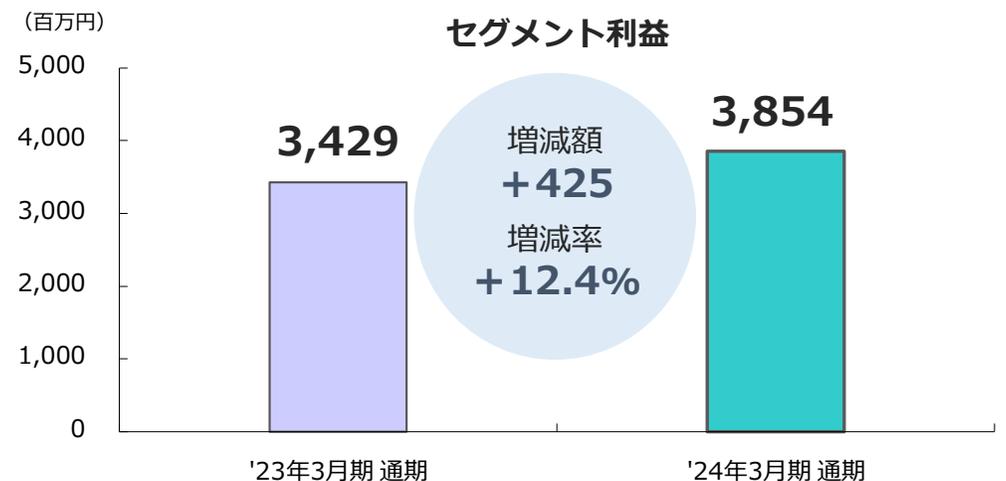
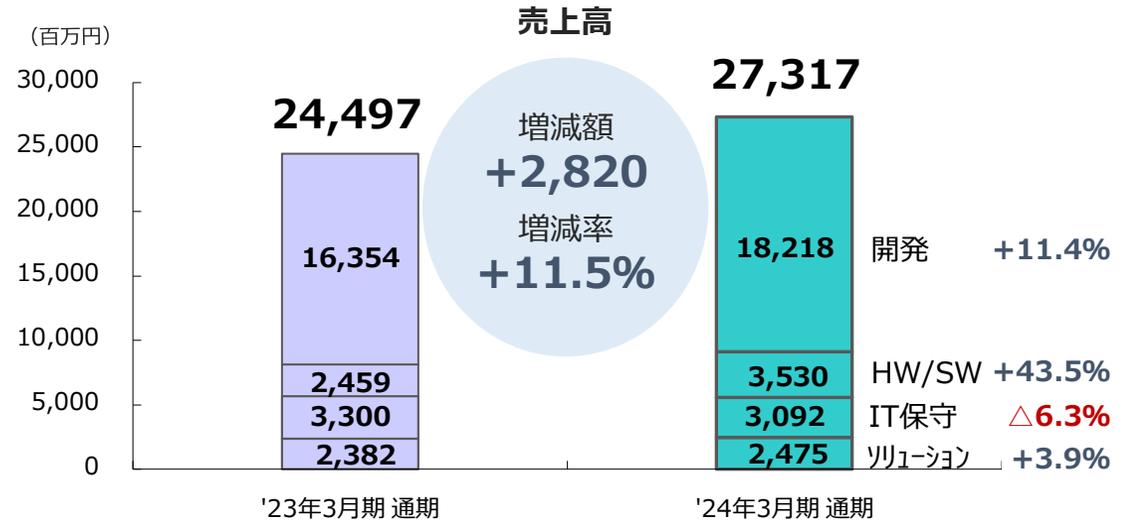
クラウドサービスの拡大等で需要は縮小しているものの、更新案件等の獲得により大幅に伸長したことで増収

IT保守サービス

更新案件等が減少したことにより減収

ソリューションサービス

サイバーセキュリティ対策にも寄与するクラウドソリューション製品の販売が拡大したことで増収



持続的な成長投資を可能とする安定した財務基盤を維持

(百万円)

科目	'23年3月期末	'24年3月期末	前期末比 増減
資産合計	22,572	23,770	+1,198
流動資産	15,931	17,472	+1,541
固定資産	6,640	6,297	△342
負債合計	7,752	8,365	+613
流動負債	7,410	7,903	+493
固定負債	341	462	+120
純資産合計	14,820	15,404	+584
現預金	6,144	5,494	△649
有利子負債	1,460	124	△1,336
自己資本比率	65.7%	64.8%	△0.9p

増減ポイント

資産

【流動資産】

現金及び預金の減少	△649
売掛金の増加	+1,387
商品の増加	+776

負債

【流動負債】

買掛金の増加	+703
1年内返済予定の長期借入金の減少	△1,336
未払法人税等の増加	+404
契約負債の増加	+307

純資産

【純資産】

利益剰余金の増加	+579
----------	------

運転資本増となるも利益拡大により営業キャッシュ・フローが大きく増加、 事業基盤投資を継続しつつフリーキャッシュ・フローも大幅に改善

(百万円)

科目	'23年3月期 通期実績	'24年3月期 通期実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	136	2,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,634	△708
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,147	△2,134
フリーキャッシュ・フロー	△1,497	1,468
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,640	△649
現金及び現金同等物期首残高	9,785	6,144
現金及び現金同等物期末残高	6,144	5,494

発生ポイント

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益	2,004
減価償却費	1,023
のれん償却額	72
売上債権の増加額	△1,385
棚卸資産の増加額	△938
仕入債務の増加額	703

投資キャッシュ・フロー

ソフトウェアの取得による支出	△442
----------------	------

財務キャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出	△1,336
配当金の支払額	△798

予想に織り込んでいなかったオフィス更改関連の費用計上を吸収し 売上高、利益とも期初予想を上回って着地

(百万円)

科目	'24年3月期 期初予想(23/5/12)	'24年3月期 通期実績	予想比増減	
			増減額	増減率(%)
売上高	46,500	49,477	+2,977	+6.4
営業利益	1,900	2,174	+274	+14.4
営業利益率%	4.1	4.4	+0.3p	-
経常利益	1,900	2,153	+253	+13.4
経常利益率%	4.1	4.4	+0.3p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,250	1,379	+129	+10.4
自己資本当期純利益率(ROE)%	8.3	9.1	+0.8p	-

SI事業は売上・利益とも予想を上回り、セキュリティ事業は売上は上回るも追加施策含めた先行投資の影響もあり利益は下回る

(百万円)

売上高	'24年3月期 通期予想(23/5/12)	'24年3月期 通期実績	予想比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	21,270	22,159	+889	+4.2
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	25,230	27,317	+2,087	+8.3
合計	46,500	49,477	+2,977	+6.4

セグメント利益	'24年3月期 通期予想(23/5/12)	'24年3月期 通期実績	予想比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	2,520	2,260	△259	△10.3
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	3,360	3,854	+494	+14.7
合計	5,880	6,115	+235	+4.0

全社共通	△3,980	△3,940	+39	-
------	--------	--------	-----	---

(注) セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の事業にかかる販売費及び一般管理費を含めた利益です。

2025年3月期 連結業績予想



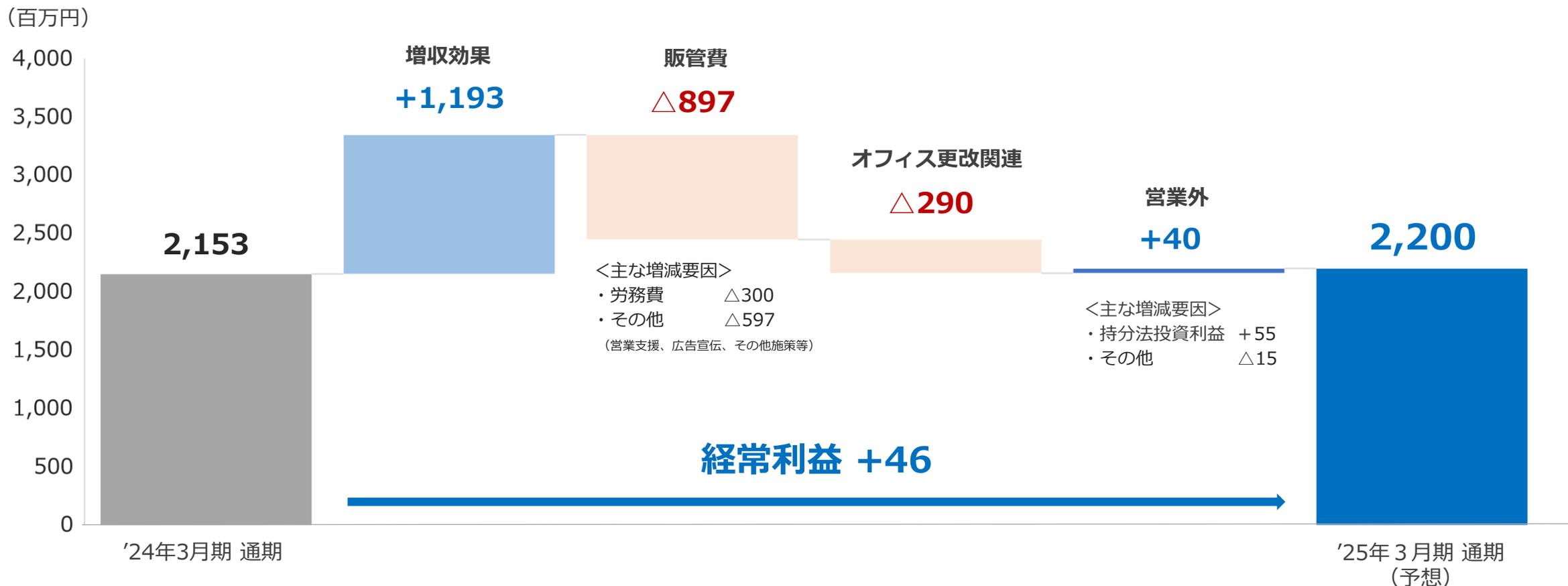
売上高、利益ともに増収・増益を予想

来期以降の経費削減に寄与するオフィス更改の一時費用により
営業利益は概ね横ばい

(百万円)

科目	'24年3月期 通期実績	'25年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	49,477	52,750	+3,272	+6.6
営業利益	2,174	2,180	+5	+0.3
営業利益率%	4.4	4.1	△0.3p	-
経常利益	2,153	2,200	+46	+2.1
経常利益率%	4.4	4.2	△0.2p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,379	1,500	+120	+8.7
自己資本当期純利益率(ROE)%	9.1	9.5	+0.4p	-

処遇改善を含めた労務費増、オフィス更改などに伴う経費増を見込むも 増収効果等により経常増益を予想



セキュリティ事業、SI事業ともにサービスビジネス拡大により増収・増益を予想 全社共通費用はオフィス更改や労務費増などにより増加予想

(百万円)

売上高	'24年3月期 通期実績	'25年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	22,159	24,560	+2,400	+10.8
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	27,317	28,190	+872	+3.2
合計	49,477	52,750	+3,272	+6.6

セグメント利益	'24年3月期 通期実績	'25年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	2,260	2,780	+519	+23.0
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	3,854	4,260	+405	+10.5
合計	6,115	7,040	+924	+15.1

全社共通	△3,940	△4,860	△919	-
------	--------	--------	------	---

(注) セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の事業にかかる販売費及び一般管理費を含めた利益です。

(ご参考) サブセグメント別業績予想 (前期比)

(百万円)

売上高	'24年3月期 通期実績	'25年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	22,159	24,560	+2,400	+10.8
セキュリティコンサルティングサービス	3,898	4,380	+481	+12.3
セキュリティ診断サービス	3,018	3,150	+131	+4.3
セキュリティ運用監視サービス	6,598	7,830	+1,231	+18.7
セキュリティ製品販売	7,773	8,430	+656	+8.5
セキュリティ保守サービス	869	770	△99	△11.4
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	27,317	28,190	+872	+3.2
開発サービス	18,218	18,950	+731	+4.0
HW/SW販売	3,530	3,550	+19	+0.5
IT保守サービス	3,092	2,980	△112	△3.7
ソリューションサービス	2,475	2,710	+234	+9.5
合計	49,477	52,750	+3,272	+6.6

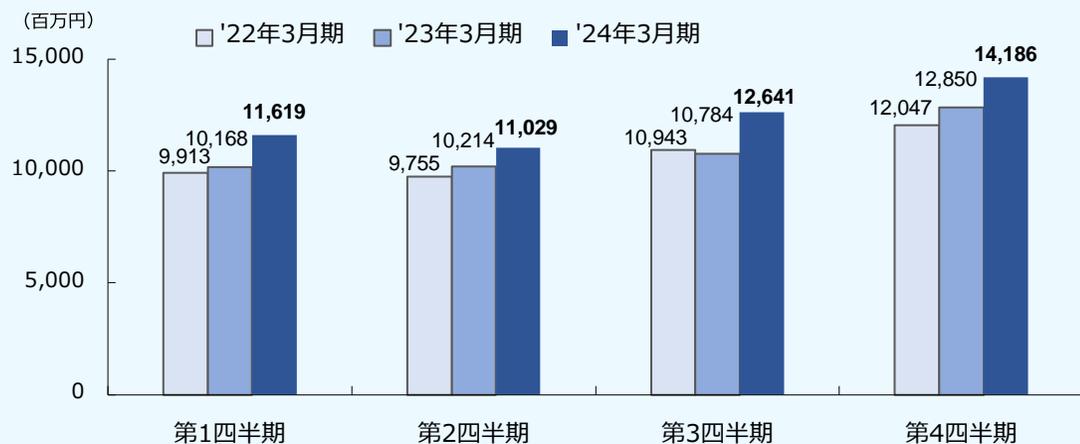
株主還元



補足資料



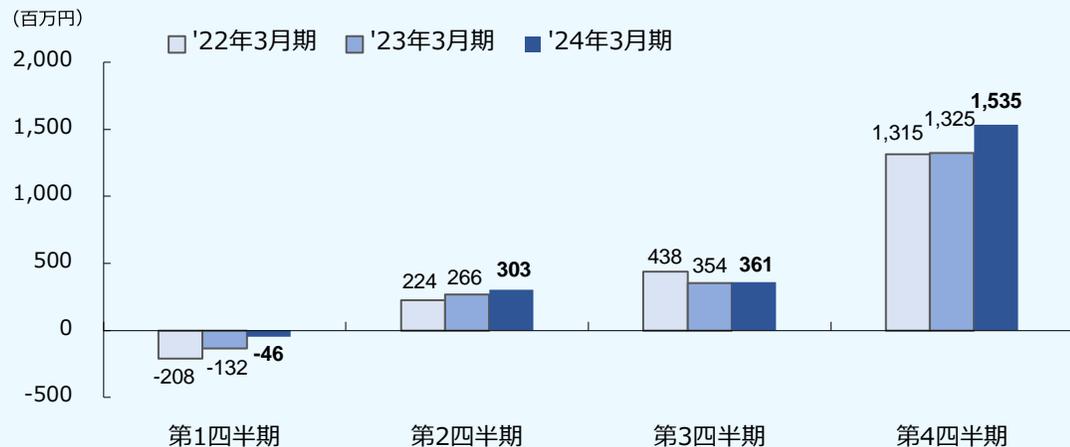
売上高



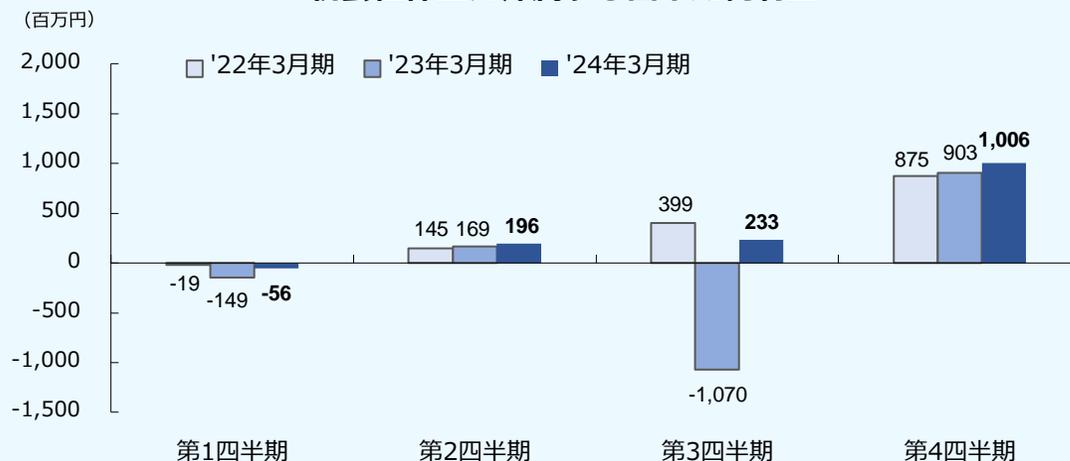
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



連結業績・セグメント別推移（四半期）



(百万円)

連結業績	'22年3月期				'23年3月期				'24年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	9,913	9,755	10,943	12,047	10,168	10,214	10,784	12,850	11,619	11,029	12,641	14,186
売上原価	8,094	7,670	8,581	8,858	8,292	7,998	8,497	9,619	9,670	8,837	10,266	10,616
売上原価率 (%)	81.7	78.6	78.4	73.5	81.6	78.3	78.8	74.9	83.2	80.1	81.2	74.8
販売費及び一般管理費	2,045	1,904	1,951	1,959	1,999	1,958	1,927	1,949	1,950	1,876	1,995	2,090
売上高販管費比率 (%)	20.6	19.5	17.8	16.3	19.7	19.2	17.9	15.2	16.8	17.0	15.8	14.7
営業利益	△226	180	410	1,229	△123	257	359	1,281	△1	316	380	1,479
売上高営業利益率 (%)	△2.3	1.9	3.8	10.2	△1.2	2.5	3.3	10.0	△0.0	2.9	3.0	10.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	△19	145	399	875	△149	169	△1,070	903	△56	196	233	1,006
売上高四半期純利益率 (%)	△0.2	1.5	3.6	7.3	△1.5	1.7	△9.9	7.0	△0.5	1.8	1.8	7.1

セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

売上高	セキュリティコンサルティングサービス	740	905	881	1,209	714	922	956	1,268	740	881	995	1,281
	セキュリティ診断サービス	411	504	464	1,072	397	556	585	1,036	385	609	558	1,465
	セキュリティ運用監視サービス	1,405	1,385	1,507	1,524	1,460	1,516	1,511	1,730	1,475	1,572	1,713	1,838
	セキュリティ製品販売	1,555	1,261	1,570	1,661	1,761	1,361	1,303	1,577	2,285	1,489	1,751	2,246
	セキュリティ保守サービス	311	194	430	381	164	143	280	271	175	157	254	281
	合計	4,425	4,251	4,854	5,849	4,498	4,500	4,638	5,884	5,062	4,709	5,272	7,114
セグメント利益		208	383	542	1,185	201	523	538	1,102	173	384	307	1,395

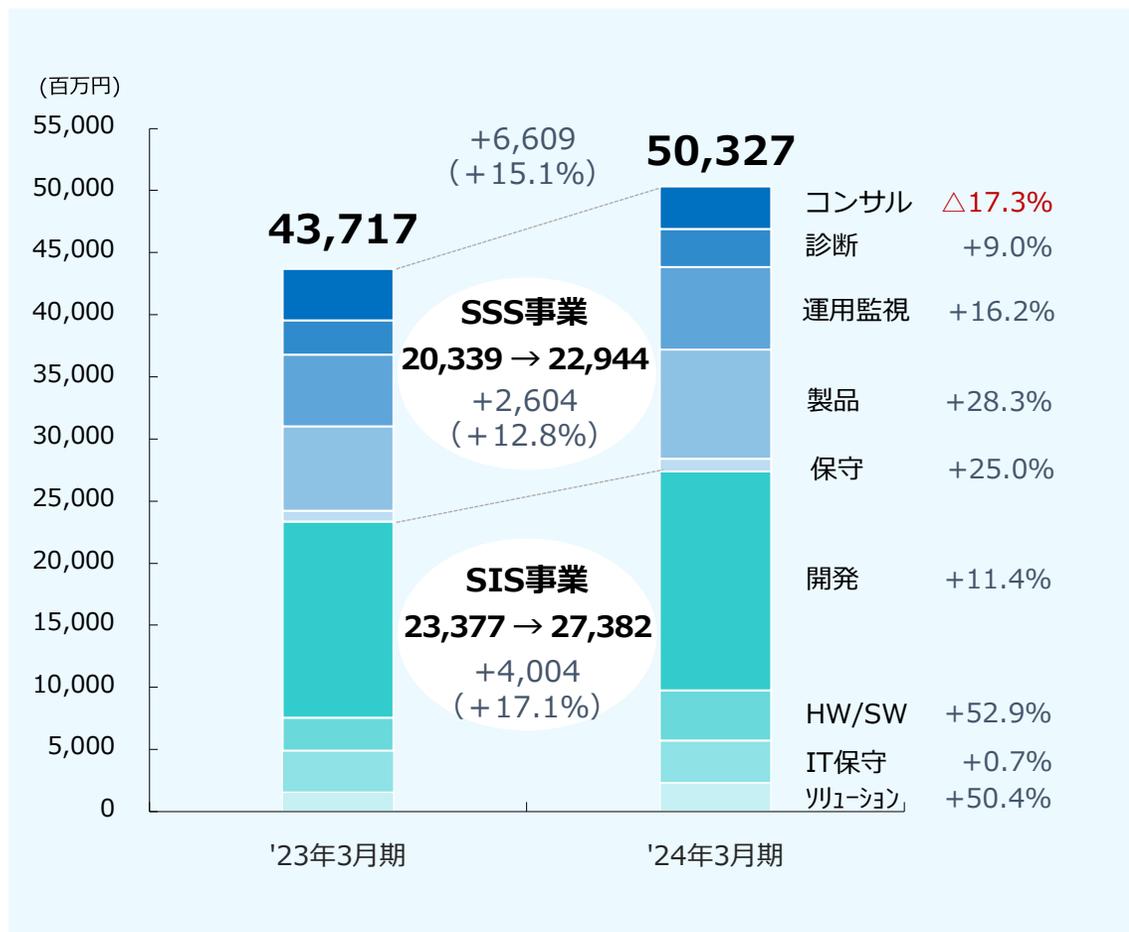
システムインテグレーションサービス事業（SIS事業）

売上高	開発サービス	3,343	3,821	4,007	4,184	3,731	4,021	4,158	4,443	4,154	4,427	4,828	4,809
	HW/SW販売	440	551	799	701	415	496	603	944	692	685	1,030	1,121
	IT保守サービス	1,171	711	903	641	961	733	909	696	1,018	722	739	612
	ソリューションサービス	532	419	378	671	560	463	475	882	690	485	771	528
	合計	5,488	5,503	6,089	6,198	5,669	5,714	6,146	6,966	6,556	6,320	7,369	7,071
セグメント利益		507	694	778	1,005	731	769	798	1,129	801	861	1,065	1,125

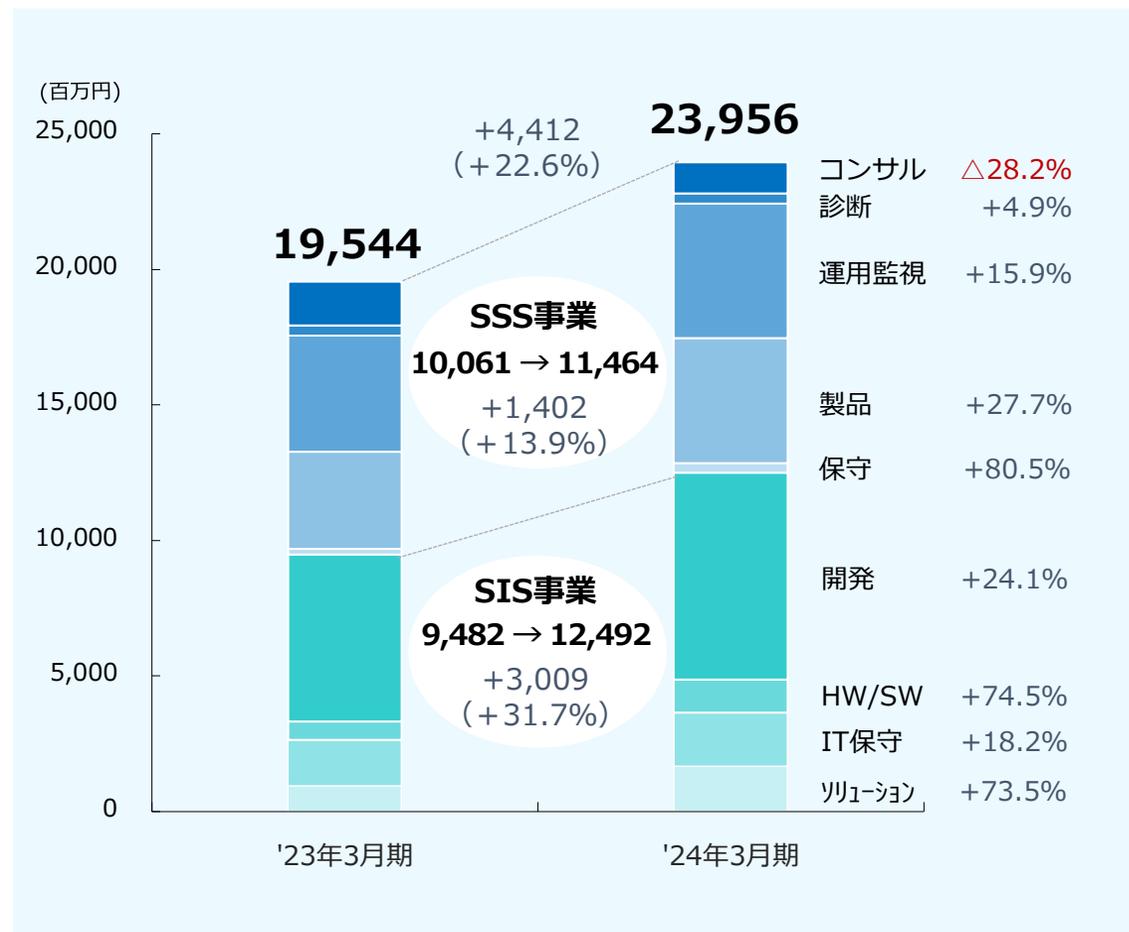
全社共通	△942	△896	△909	△960	△1,057	△1,035	△977	△950	△976	△930	△993	△1,040
------	------	------	------	------	--------	--------	------	------	------	------	------	--------

(注) SSS事業の'24年3月期第1四半期からのサブセグメント間（コンサルティングサービス、診断サービス、運用監視サービス）の事業組み替えについて、'23年3月期は遡って組み替えた数値を反映していますが、'22年3月期は同組み替えを反映していません。

受注高



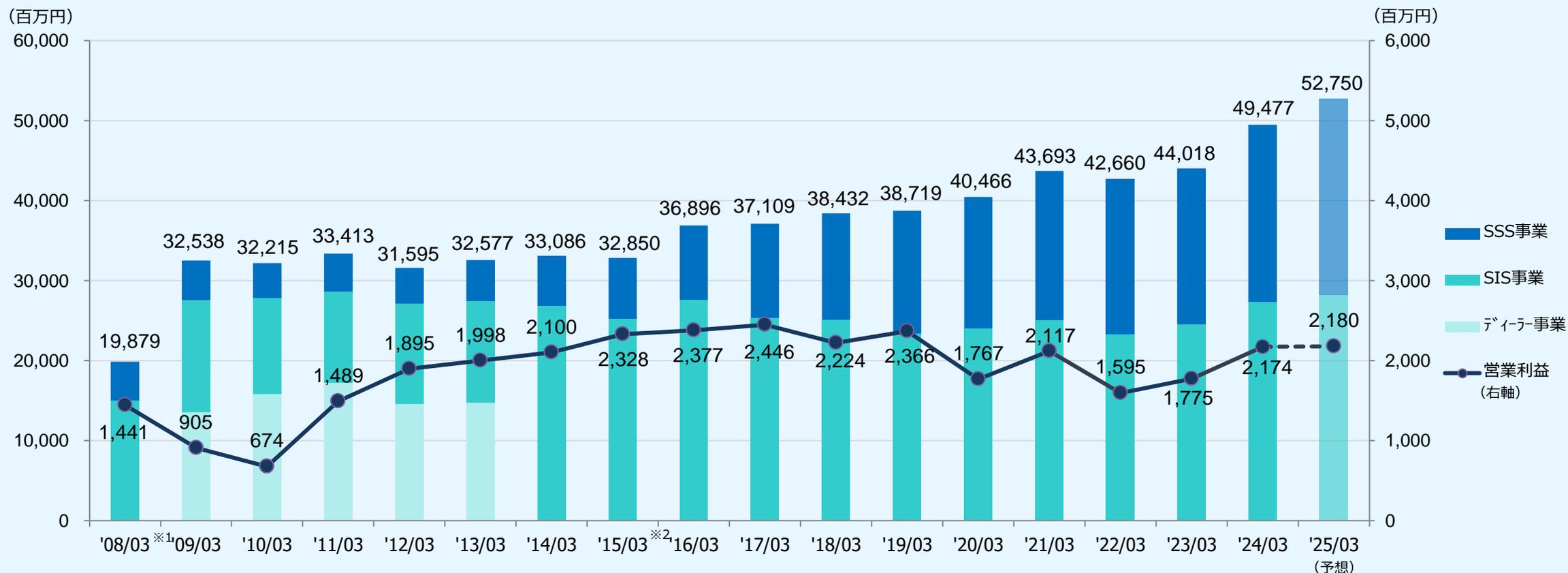
期末受注残高



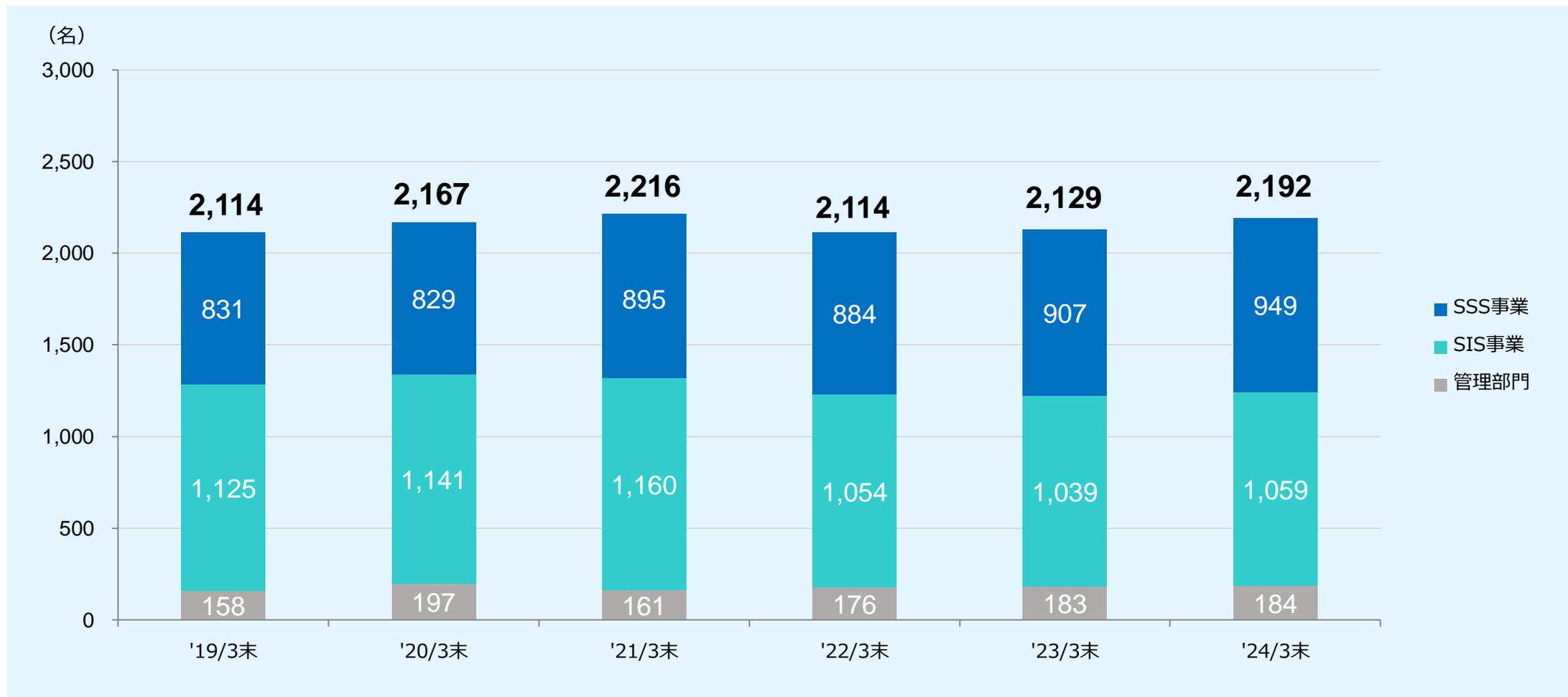
(注) 1. 受注高、受注残高とも単体の数値です。

2. SSS事業の第1四半期からのサブセグメント間（コンサルティングサービス、診断サービス、運用監視サービス）の事業組み替えについて、受注残高は'23年3月期に遡って組み替えた数値を反映していますが、受注高は同組み替えを反映していません。

連結業績推移（セグメント別）



(注) 1. 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。
 2. 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。



(注) '22年3月期末の従業員数は、SSS事業において、第1四半期に(株)アジアリザレクションが(株)ラックサイバーリンクを存続会社として吸収合併したことによる減少影響(21年3月末比較:30名)があります。また、SIS事業において、2021年6月28日にアイ・ネット・リリー・コーポレーション(株)の全株式を売却し、連結の範囲から除外していることから、同社の従業員数(21年6月末時点:97名)が除外されています。

会社紹介



(2024年4月1日現在)

会社名	株式会社ラック		
住所	東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー		
設立	2007年10月1日 (前身となる旧ラックは1986年に設立)		
代表者	代表取締役社長 西本 逸郎		
資本金	26億4,807万5,000円		
業績	売上高 494億円 営業利益 21億円 (2024年3月期)		
従業員数	連結 2,192名 単体 1,698名 (2024年3月31日時点)		
拠点	東陽町オフィス (東京都) 福岡オフィス (福岡県)	ラックテクノセンター秋葉原 (東京都) ラックテクノセンター北九州 (福岡県)	名古屋オフィス (愛知県) シンガポール支店 (シンガポール)
関係会社	セキュリティ 株式会社ラックサイバーリンク (東京都) KDDIデジタルセキュリティ株式会社※ (東京都) ニューリジェンセキュリティ株式会社※ (東京都) ※持分法適用関連会社	SIサービス 株式会社ラックテクノロジーズ (東京都) (2024年4月1日付で株式会社ソフトウェアサービスから商号変更) 株式会社アクシス (福島県)	
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード 3857		

他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと 独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供



安心・安全なサイバー空間への貢献

SSS

セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。

サブセグメント

- ・セキュリティコンサルティングサービス
- ・セキュリティ診断サービス
- ・セキュリティ運用監視サービス
- ・セキュリティ製品販売
- ・セキュリティ保守サービス

ITによる豊かな社会への貢献

SIS

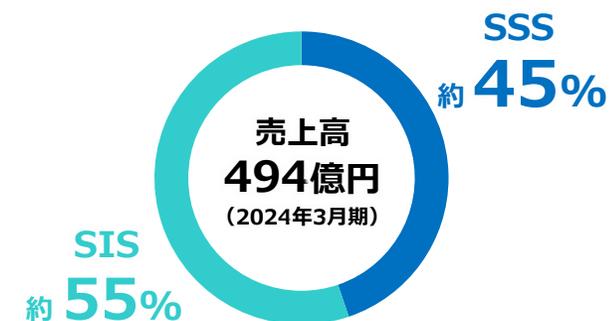
システムインテグレーションサービス

大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強みに、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤まで一貫したSIサービスを提供しています。

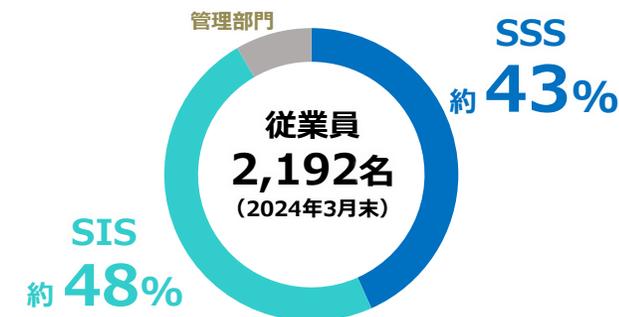
サブセグメント

- ・開発サービス
- ・HW/SW販売
- ・IT保守サービス
- ・ソリューションサービス

売上高構成比



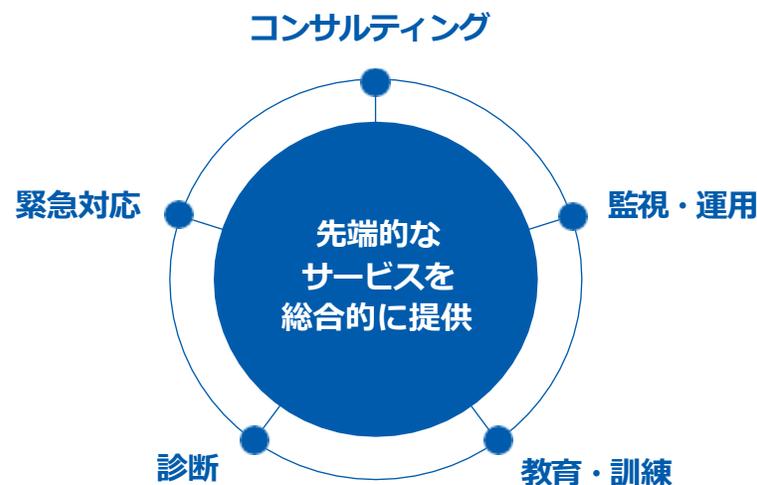
人員構成比



セキュリティの先駆者として構築してきた 総合的なセキュリティサービス

1995年に、診断サービスから国内初のサイバーセキュリティ事業を開始。

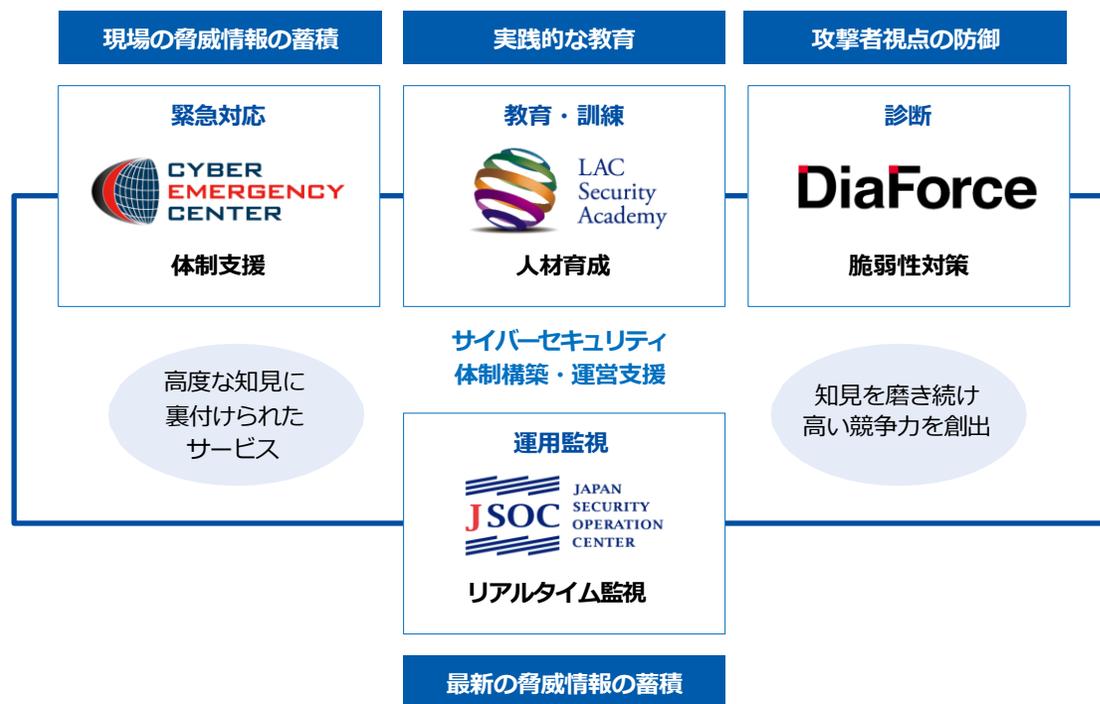
サイバー攻撃への対処法が定まっていない時代、お客様の要望に応じて緊急対応や教育・訓練などのサービスモデルを構築し、運用監視サービスなどとあわせて総合的かつ先端のセキュリティサービスを提供。



高度な技術・ノウハウを有した セキュリティエンジニアによる専門サービス

高度な技術とノウハウを持つ「セキュリティエンジニア」によるサービスを提供していることが特徴。

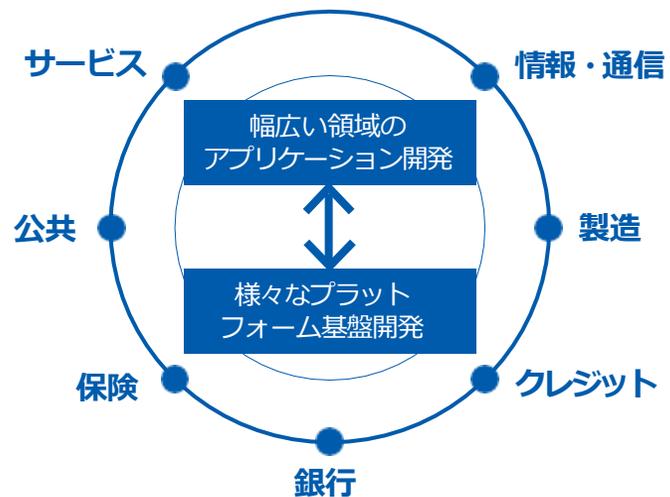
約30年にわたって磨き続けてきた現場経験力と、独自に得られる最新の脅威情報をセキュリティ対策の高度な知見（インテリジェンス）として活用。



安定した収益を生み出す システム開発

独立系ITベンダーとして、30年以上にわたり基盤システムやITインフラを開発。

メインフレームからスマートフォンアプリの開発まで、幅広いプラットフォームの基盤構築とアプリケーションの設計構築に精通していることが強み。



常に進化し続け成長していく ユニークな組織や人材



専門的な技術や情報、知見を持って、お客様の課題を解決する組織やセンター群を擁する。

多様な分野の人材育成とあわせ、専門スキルを評価する人事制度などを充実させ、今後の成長と発展を担う人材の育成・確保に努める。

- **JSOC**
国内最大規模のセキュリティ監視センター
- **サイバー救急センター**
サイバー被害の救急対応を24時間365日実施
- **ラックセキュリティアカデミー**
専門講師による実践的情報セキュリティ教育
- **サイバー・グリッド・ジャパン**
セキュリティ等の国防・ICT利用啓発等の研究
- **ラックテクノセンター秋葉原**
自動車・IoT機器など種々のシステムに対する侵入テストを行う技術拠点
- **金融犯罪対策センター**
金融犯罪被害の相談と対策支援、防御技術の開発

生成AIを用いたシステムに対して特有のセキュリティ評価を行うことで 安心・安全な生成AIシステムの開発・提供を実現

生成AIシステムのセキュリティを強化するための新サービス「生成AI活用システム リスク診断」の提供を開始。

セキュリティエンジニアが、生成AIと連携して利用するWebアプリケーションの特性を考慮し、問題点や誤情報の拡散といった生成AIが引き起こす可能性のあるリスクを発見。

また生成AI搭載のシステムに設定すべき安全策が施されているかもあわせて確認することで、自社サービスに生成AIを組み込む際に発生する不安の解消に貢献。

生成AI活用システム リスク診断サービスの特徴

生成AIに特化した脆弱性評価

セキュリティエンジニアが、生成AIと連携して利用するWebアプリケーションの特性を考慮し、機密情報、プライバシー情報の漏えいに繋がる問題点や誤情報の拡散といった生成AIが引き起こす可能性のあるリスクを発見

生成AI搭載のシステムに設定された制限の安全評価

情報漏えい対策や不適切なコンテンツのフィルタリングなど、生成AI搭載のシステムに設定すべき安全策が設定されているかを確認。また、生成AIの脆弱性を利用した制限回避の抜け道の有無も確認

カスタム化されたリスク分析

「社内利用のみ」、「不特定多数に公開前提」といった生成AIシステムの使用環境、連携する機能に応じたカスタムメイドのリスク分析を実施

日本テラデータ株式会社と協業し、大規模な個別監視サービスのデータ収集、分析基盤として 同社が提供するクラウドデータ分析基盤を採用

ラックが提供する個別監視サービスのデータ収集、分析基盤の1つとして、日本テラデータが提供するクラウドデータ分析基盤「Teradata VantageCloud」を採用。

外部と情報共有できない様々なデータソースを仮想的に一元化し、簡単にアクセス、分析が可能。

またログデータの増加による業務効率の低下を防ぎ、データ量に依存しないライセンス体系で非常に高いコストパフォーマンスを実現。

「Teradata VantageCloud」の導入効果

企業がサイバー攻撃により損害を被るリスクはますます増大
セキュリティ機器から収集されるログは、様々な機器から多様な形式で発生するためデータ量やそれに応じた課金も日々増加

「Teradata VantageCloud」導入

運用監視業務の効率化

外部と共有できない様々なデータソースを仮想的に一元化し、簡単にアクセス、分析できるようデータ統合と管理を実現

高いコストパフォーマンス

データ量に依存しないライセンスモデルとなっており非常に高いコストパフォーマンスを実現

AIを活用してイントラネットやクラウド上の端末、SaaSアカウントを包括的に監視し ネットワークに侵入したセキュリティ上の脅威を可視化

AIを使用してクラウドやデータセンター全体の脅威を検出する「Vectra AI NDR」の運用サービス「JSOC MSS NDR監視運用 for Vectra AI」の提供を開始。

EDR、SIEMだけでは不十分な領域をリアルタイムで検知するため、被害を最小限に抑える対応が可能。また機械学習による誤検知・過検知を抑制し、調査に必要となる情報を即座に提供することで、解決にかかる時間を大幅に短縮。検知した脅威の優先順位付けを自動化する機能を搭載しており、対処すべきポイントを即座に判断可能。

サービス導入による主な効果

侵入してきた攻撃者をリアルタイムで検知

EDR、SIEMだけでは不十分な領域である攻撃者やマルウェアが侵害範囲を広げる活動をリアルタイムで検知するため、被害を最小限に抑える対応が可能

解決にかかる時間を大幅に短縮

機械学習による誤検知・過検知を抑制し、さらに調査に必要となる情報を即座に提供することで、解決にかかる時間を大幅に短縮

優先対応すべきホストを自動的に算出

検知した脅威の優先順位付けを自動化する「Attack Signal Intelligence™」を搭載しており、ホストごとに脅威スコア（優先度）が付与されるため、対処すべきポイントを即座に判断可能

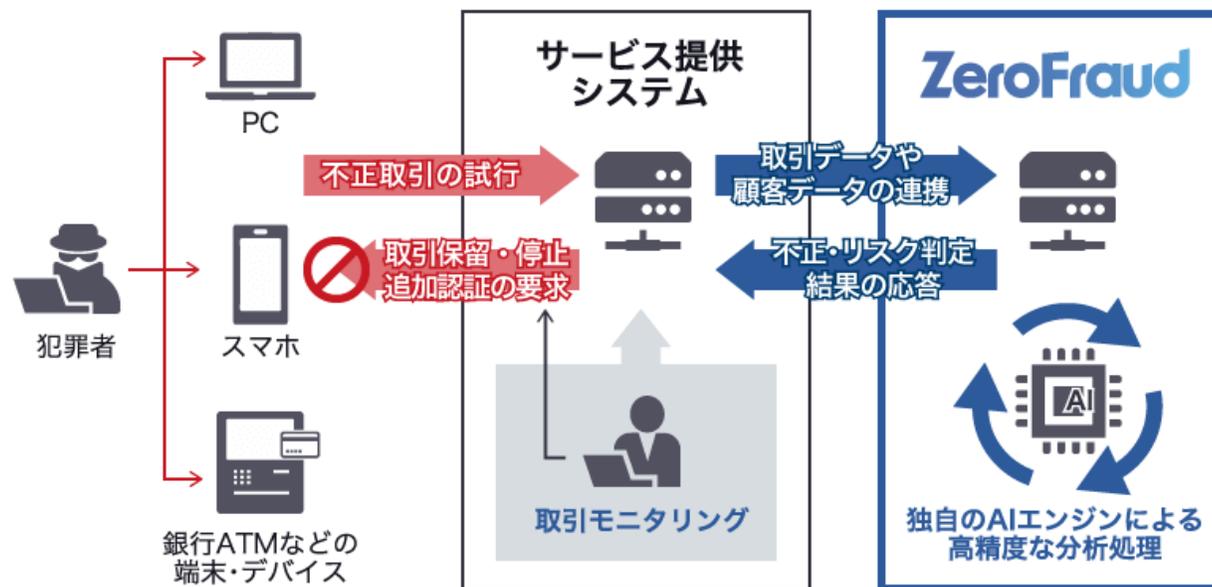
(注) 1. NDR…Network Detection and Responseの略。AIや機械学習を活用して、ネットワーク上の異常や悪意ある行動を検知しサイバー脅威に対処するソリューション。
2. SIEM…Security Information and Event Managementの略。セキュリティ/ネットワーク機器から集めたログを一元管理・分析しセキュリティ事故を自動的に発見するソリューション。

不正取引検知ソリューション「AIゼロフラウド」の提供を通して 千葉銀行の特殊詐欺対策や不正口座対策への取り組みを支援

(株)千葉銀行に対して、高齢者からキャッシュカードを騙し取る手口などの特殊詐欺や不正口座への対策となる、人工知能（AI）による不正取引検知ソリューションを提供。

犯罪者が行う取引の特徴などをもとに取引の不正リスクを分析・判定する仕組みにAIを活用。概念実証実験（PoC）を行い、特殊詐欺における不正取引や不正口座の検知精度の高さが評価される。

AIゼロフラウドの特徴





※本資料は2024年5月13日時点の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※この配付資料に記載されている業績目標、将来の見通しなどの記述はいずれも、当社グループが作成時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは経済情勢や社会動向等の様々な経営環境の変化によって、直接・間接に影響を受けるものであり、実際の業績、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。